

令和2年度 第1回千葉県博物館協議会会議

日 時 令和2年8月28日(金)
午 後 午後1時30分～
会 場 千葉県立中央博物館講堂

次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 千葉県博物館協議会委員紹介
- 4 出席職員紹介
- 5 議長及び副議長の選出
- 6 議事
 - (1) 県立博物館・美術館の現状について
 - (2) コロナ時代の県立博物館・美術館の新しい姿
 - (3) その他
- 7 諸連絡
- 8 閉会

千葉県博物館協議会委員 名簿

No.	領域	氏名	所属等
1	学校教育	まえばやし のりこ 前林 典子	佐倉市立佐倉東小学校 校長
2	学校教育	ゆり ともこ 由利 知子	千葉市立幸町第一中学校 校長
3	社会教育	しのざき みちなり 篠崎 道成	市川市幸公民館 館長
4	家庭教育	ほそい かずみ 細井 和美	千葉県子ども会育成連合会専門委員
5	学識経験者	ゆあさ はるひさ 湯浅 治久	専修大学文学部 教授
6	学識経験者	しばた よしき 柴田 良貴	筑波大学 名誉教授
7	学識経験者	にしだ はるふみ 西田 治文	中央大学理工学部 教授
8	学識経験者	せきざわ まゆみ 関沢 まゆみ	国立歴史民俗博物館 教授
9	学識経験者	たかはし まさし 高橋 正	東邦大学理学部 教授
10	学識経験者	よねもと まこと 米本 信	一般財団法人 NHK サービスセンター 元理事長

(令和2年4月1日～令和4年3月31日)

令和2年度 第1回千葉県博物館協議会会議

千葉県立美術館・博物館長

館名	職名	氏名
千葉県立美術館	館長	道上 みゆき
千葉県立中央博物館	館長	古泉 弘志
千葉県立現代産業科学館	館長	永島 謙
千葉県立関宿城博物館	館長	鈴木 淳一
千葉県立房総のむら	館長	藤田 武

千葉県教育委員会

部課名	職名	氏名
教育振興部文化財課	学芸振興室長	神野 信
教育振興部文化財課	学芸振興	佐山 淳史

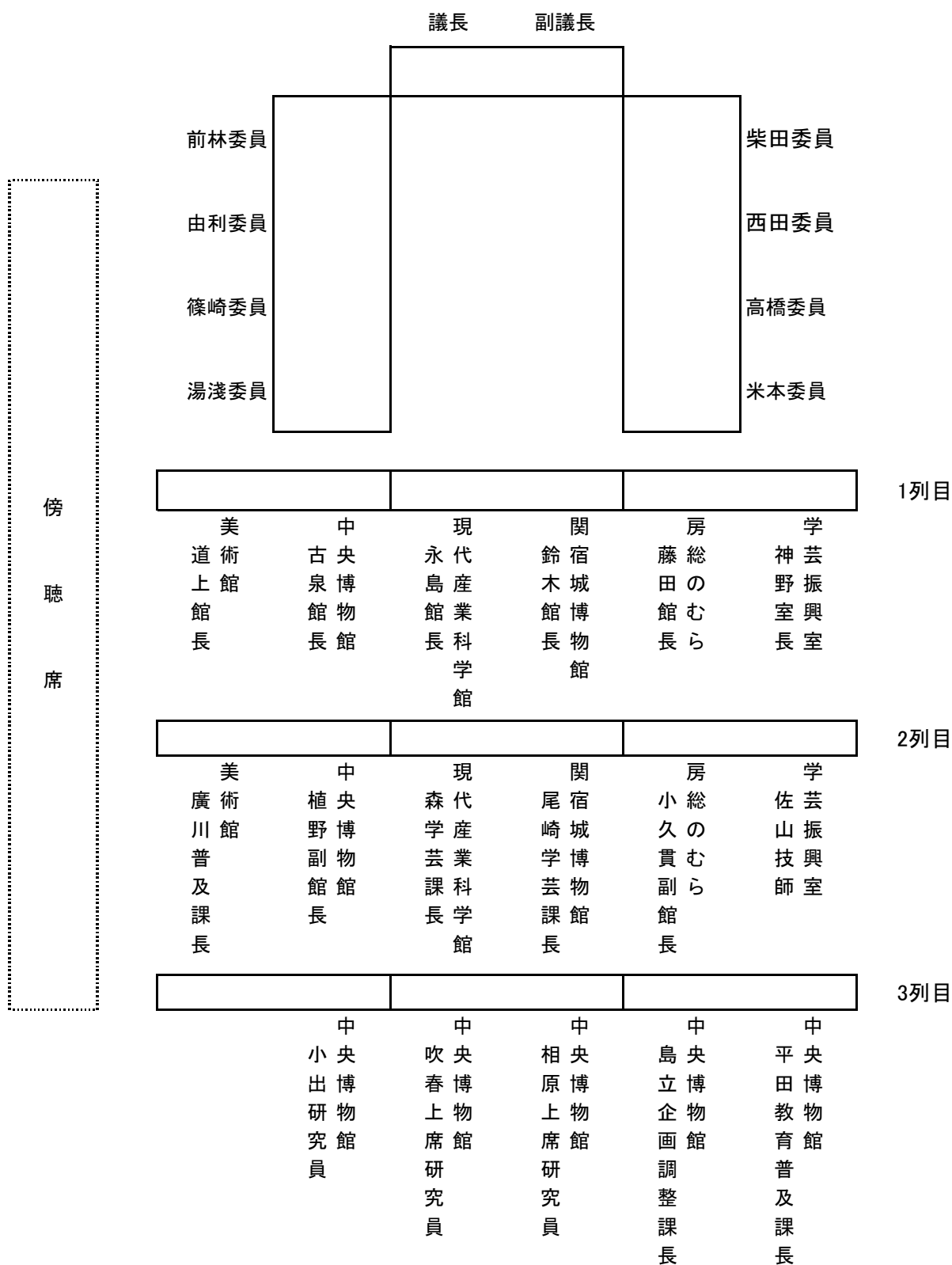
千葉県立美術館・博物館職員

館名	職名	氏名
千葉県立美術館	普及課長	廣川 政和
千葉県立中央博物館	副館長	植野 英夫
	教育普及課長	平田 和弘
千葉県立現代産業科学館	学芸課長	森 恭一
千葉県立関宿城博物館	学芸課長	尾崎 晃
千葉県立房総のむら	副館長	小久貫 隆史

事務局

館名	職名	氏名
千葉県立中央博物館	企画調整課長	島立 理子
	上席研究員	相原 康平
	上席研究員	吹春 俊光
	研究員	小出 麻友美

令和2年度 第1回千葉県博物館協議会座席表 座席表



1列目

2列目

3列目

令和2年度 千葉県立美術館の概要

令和2年8月19日

1 使命

千葉県立美術館は、千葉県ゆかりの美術資料を中心として体系的に収集、保管して後世に継承するとともに、「みる、かたる、つくる」活動により新たな知見を創造し、美術情報を発信します。

さらに、この美術活動をとおして、美術を愛する人材を育成し、県民の学習および地域づくりを支援します。

1. 調査・研究を基に、新たな美術資料の発見と価値を見出し、千葉県の美術・文化に関する資料を収集・保存して、後世に伝えます。
2. 美術資料や調査・研究の成果を知的資産として蓄積し、その情報を発信することによって県民と共有し、美術の振興と発展に寄与します。
3. 県民に専門性や体験を重視した生涯学習の機会を提供し、美術や文化を愛する人材を育成します。
4. 美術館は地域の核となって、美術をとおしてまちづくり、地域文化振興、地域おこし、といった地域づくりを支援します。

2 住所

千葉市中央区中央港1-10-1 (JR京葉線 千葉みなと駅から徒歩約10分)

3 沿革

昭和49年 4月 1日機関設置、同年10月23日開館(耐震補強工事実施済)

4 施設

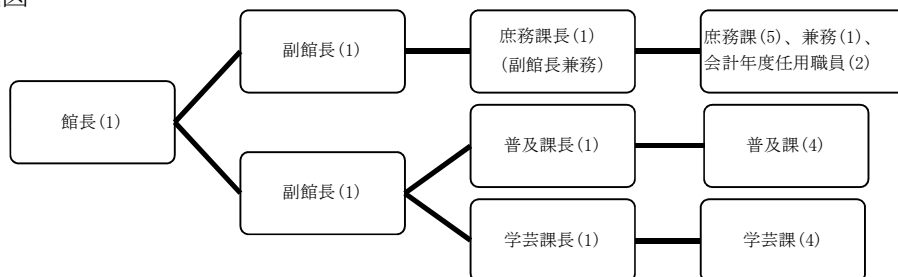
敷地面積 33,057.87 m²
 建物延床面積 10,663.57 m² (展示室面積4,296.30 m²、収蔵庫面積771.50 m²)

5 組織

(1) 職員数 21名 (内、再任用3名)

区分	行政職	研究職	兼務	会計年度任用職員	計
人数	8	10	1	2	21

(2) 組織図



6 予算

歳入	令和2年度当初	令和元年度当初	平成30年度当初
予算額	22,522 千円	18,997 千円	13,265 千円

歳出	令和2年度当初	令和元年度当初	平成30年度当初
予算額	240,434 千円	178,503 千円	127,678 千円

7 収蔵資料

区分	令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末
収蔵資料	2,771点	2,767点	2,766点
研究資料	1,645点	1,638点	1,636点

8 入場者数

年 度	入場者数	館主催展覧会入場者数	うち有料入場者数	入場料
令和元年度	122,238人	36,351人	9,869人	5,340,410円

年 度	入場者数	館主催展覧会入場者数	うち有料入場者数	入場料
平成30年度	111,638人	26,963人	7,063人	2,442,430円

年 度	入場者数	館主催展覧会入場者数	うち有料入場者数	入場料
平成29年度	118,914人	30,547人	10,746人	5,910,870円

9 令和2年度 主要展示事業

(1) 特別展

『日本文化の華 大相撲展』 令和3年1月16日(土)～令和3年3月21日(日)

(2) コレクション展ほか

- ・名品
- ・関西美術院の画家たち
- ・彩る金・銀・銅

令和2年4月18日(土)
～令和2年7月12日(日)

- ・都鳥英喜とその周辺
- ・名品
- ・高村光太郎の生きた時代

令和2年7月18日(土)
～令和2年9月21日(月・祝)

- ・名品
- ・魔法の手 ロッカクアヤコ作品展

令和2年10月31日(土)
～令和3年1月11日(月・祝)

※東京オリンピック・パラリンピックの延期及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み中止
・千葉からはばたく新世代アート展千葉の新進作家vol.2
100%ORANGE オレンジ・ジュース

(3) 第44回千葉県移動美術館 成田市文化芸術センター(成田市)

令和2年9月29日(火)
～令和2年10月11日(日)

10 令和2年度 主要普及事業

(1) 実 技 講 座 : 計 6講座実施予定

- ・陶芸① : 定員20人(全7回) ※中止
- ・陶芸② : 定員20人(全7回) ※中止
- ・金 工 : 定員15人(全7回)

・ホリデーアート

- 蜜蝋画 : 定員20人(全2回)
- コラグラフ : 定員20人(全2回)
- ・篆 刻 : 定員20人(全4回)

(2) ワ ー ク シ ョ ッ プ : 計 7回実施予定

- ①GW・ワークショップ ※中止
- ③夏休み・ワークショップ ※中止
- ⑤中学生ワークショップ
- ⑦スプリング・ワークショップ

- ②県民の日ワークショップ ※中止
- ④地域連携ワークショップ ※中止
- ⑥クリスマス・ワークショップ

(3) 「美術館とつくり」展 ……実技講座の作品発表の場(当館の教育普及事業を紹介する展覧会)

(4) 博 学 連 携 事 業

- 学習支援キットの貸出 ※当面の間休止
- ・教師のためのアートガイダンス ※中
- ・ケンビーおもしろ鑑賞教室 ……来館した学校団体等を対象とした、鑑賞学習や創作体験 ※当面の間
- ・出張授業 ※当面の間休止
- ・美術館体験学習…職場体験、インターンシップ ※中止
- ・博物館実習

(5) 地 域 連 携 事 業

- ・ちばモルレル祭り ※中止
- ・成田アート博覧会
- ・「千葉湊大漁まつり」への参加
- ・「ちーバル」チケット半券提示サービスへの協力

※中止…新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった事業

千葉県立中央博物館の概要（令和2年度）

1 使命

千葉県立中央博物館は、地域の市民と共に、自然と歴史に関わる資料・情報を収集・蓄積するとともに、基礎的・国際的視野に立つ科学研究により、その新たな価値を発見し、教育、展示、その他全ての博物館活動を通して県民や市民へ発信し、県民共有の知的資産として未来へ伝える。

また、千葉県の中核的総合博物館として、さまざまな市民の幅広い知的ニーズに応えつつ、双方向の交流を通して、その生涯学習拠点となる。

2 場所

- (1) 本館 千葉市中央区青葉町955-2（県立青葉の森公園内）
- (2) 大利根分館 香取市佐原ハ4500
- (3) 大多喜城分館 夷隅郡大多喜町大多喜481
- (4) 分館海の博物館 勝浦市吉尾123

3 機関設置

- (1) 本館 平成元年1月11日（同年2月7日 一般公開）
- 大利根分館 平成18年4月1日分館化
（大利根博物館 昭和54年4月1日機関設置 同年11月21日一般公開）
- 大多喜城分館 平成18年4月1日分館化
（総南博物館 昭和50年4月1日機関設置 同年9月10日一般公開）
- (2) 分館海の博物館 平成11年3月12日（同日 一般公開）

4 施設

- (1) 本館 敷地面積 13,178 m²
建物延床面積 15,254 m²
（展示室面積4,291 m²/収蔵庫面積3,591 m²/研究・管理部門6,812 m²）
- 生態園 敷地面積 66,000 m²
建物延床面積 758 m²
- (2) 大利根分館 敷地面積 13,195 m²
建物延床面積 1,751 m²（展示室535.66 m²/収蔵庫253.83 m²）
- (3) 大多喜城分館 敷地面積 5,673 m²
建物延床面積 1,952.93 m²
（展示室656.60 m²/収蔵庫310.93 m²/研修室246.75 m²等）
- (4) 分館海の博物館 敷地面積 7,161.01 m²
建物延床面積 7,696.13 m²（本館棟3,919 m²/駐車場3,694 m²等）

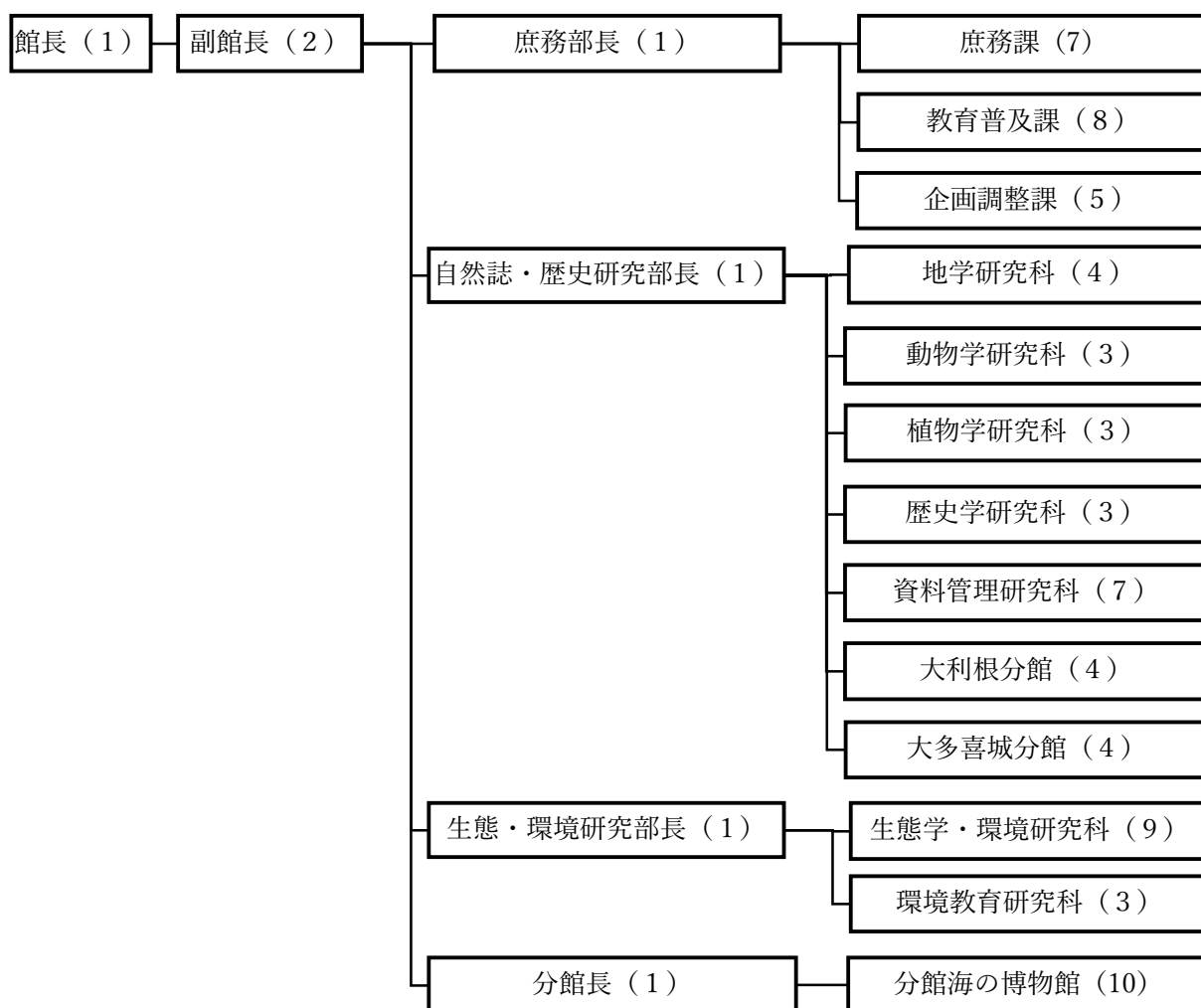
5 組織

- (1) 職員数 82名（職員77名（うち、再任用21名）、体験交流員等 5名）

区分	行政職	研究職	計	体験交流員等	合計
本館	12名(2名)	46名(13名)	58名	3名	61名(15名)
大利根分館	1名	3名(1名)	4名	0名	4名(1名)
大多喜城分館	1名(1名)	3名	4名	0名	4名(1名)
分館海の博物館	3名(2名)	8名(2名)	11名	2名	13名(4名)
計	17名(5名)	60名(16名)	77名	5名	82名(21名)

(注) 環境生活部自然保護課千葉県生物多様性センター 併任職員2名、文化財課 併任職員1名を含む。（ ）内は再任用。

(2) 組織図



(3) 博士号取得者数 (R2)

理学博士	工学博士	農学博士	水産学博士	学術博士	文学博士	合計
22	1	5	2	2	1	33

6 予算

	令和2年度 (千円)	平成31年度 (千円)	増減 (千円)
本館	187,142	187,266	△ 124
大利根分館	17,582	17,277	305
大多喜城分館	28,126	27,111	1,015
分館海の博物館	70,678	70,121	557
合計	303,528	301,775	1,753

7 常設展示の構成

- (1) 本館 房総の自然と人間
 房総の自然誌
 (房総の地学、房総の生物、海洋、生物の分類、小動物展示室)
 房総の歴史
 自然と人間のかかわり
 体験学習室
- 生態園 房総の代表的自然を再現し、動植物の生態を身近に観察する野外施設
- (2) 大利根分館 利根川の自然と歴史、千葉県農業
- (3) 大多喜城分館 房総の城と城下町
- (4) 分館海の博物館 房総半島の海の自然
 房総の海
 さまざまな海の姿
 博物館をとりまく自然
 海と遊ぼう

8 収蔵資料

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
本館	1,020,946点	989,386点	948,429点
大利根分館	18,548点	21,801点	21,800点
大多喜城分館	2,020点	2,020点	2,020点
分館海の博物館	69,866点	67,063点	64,784点
合計	1,111,380点	1,080,270点	1,037,033点

9 入館者数

(3) 平成31・令和元年度

	入館者数	うち有料入館者数	入館料収入
本館	108,751人	19,586人	7,330,010円
大利根分館	11,275人	1,414人	343,210円
大多喜城分館	62,419人	24,756人	4,986,770円
分館海の博物館	49,868人	22,272人	4,300,240円
合計	232,313人	68,028人	16,960,230円

(2) 平成30年度

	入館者数	うち有料入館者数	入館料収入
本館	154,482人	30,685人	18,655,450円
大利根分館	12,320人	1,369人	319,140円
大多喜城分館	77,362人	29,623人	6,104,590円
分館海の博物館	51,188人	23,246人	4,502,980円
合計	295,352人	84,923人	29,582,160円

(3) 平成29年度

	入館者数	うち有料入館者数	入館料収入
本館	125,608人	20,872人	8,416,940円
大利根分館	13,017人	1,472人	355,000円
大多喜城分館	97,368人	34,273人	6,982,680円
分館海の博物館	54,602人	25,585人	4,809,060円
合計	290,595人	82,202人	20,563,680円

10 令和2年度主要展示事業

- (1) 企画展 本館
- ・企画展「ちばの縄文」
令和2年10月10日(土)～12月13日(日)
- 大多喜城分館
- ・企画展「福を呼ぶ小袖と房総の万祝」
令和2年10月23日(金)～12月6日(日)
- (2) 季節展示等 本館
- ・春の展示「うめ・もも・さくら」
令和2年2月15日(土)～6月28日(日)
 - ・チバミュージアムフェスタ2020
『『オリンピック・パラリンピック』と千葉のスポーツ史』
令和2年2月22日(土)～8月31日(月・祝)
 - ・トピックス展「房総の海の遊び」
令和2年7月18日(土)～8月31日(月・祝)
 - ・出土遺物公開事業「北方交流録」
[主催] 公益財団法人 千葉県教育振興財団
令和3年1月9日(土)～2月14日(日)
 - ・秋の展示「ノスタルジック・ポストカード」
令和3年1月9日(土)～3月7日(日)
 - ・春の展示「九十九里の自然誌」
令和3年3月6日(土)～5月30日(日)
- 大 利 根 分 館
- ・夏休み展示
「カミツキガメ—どのような生きものか?いるとなぜいけないのか?—」
令和2年7月18日(土)～8月30日(日)
 - ・収蔵品展「古い道具と昔の暮らし」
令和2年9月15日(火)～9月30日(水) (通常開館)
令和2年10月1日(木)～令和3年3月5日(金) (予約団体のみ)
- 大多喜城分館
- ・収蔵資料展「大多喜城の弓」
令和2年7月9日(木)～10月18日(日)
 - ・特別公開「重要文化財 大薙刀」
令和2年12月10日(木)～令和3年2月7日(日)
- (3) 生態園トピックス展
- ・タネの大冒険
令和2年7月14日(火)～9月22日(火・祝)
 - ・身近なコケ
令和3年2月16日(火)～5月23日(日)
- (4) 分館海の博物館
- ・大収蔵資料展「海博・お宝大集合!」
令和2年7月18日(土)～9月27日(日)
 - ・マリンサイエンスギャラリー「ウミカラ」
令和3年2月20日(土)～5月5日(水・祝)

※ コロナのための休館後の再開

- 本館
- ・令和2年5月26日(火) から再開
- 他分館
- ・令和2年6月2日(火) から再開

千葉県立現代産業科学館の概要

令和2年4月1日

1 設置目的及び展示内容等

子どもから大人まで、だれもが産業に応用された科学・技術を体験的に学ぶことができる場を提供することを目的として、平成6年6月15日に開館した。

(1) [展示内容の構成]

①「現代産業の歴史」

現代の日本および千葉県の基幹産業である電力・石油・鉄鋼産業について、人が電気や鉄、石油と出会い、どのように近代工業へと発展したか、その発展の歴史や現代の技術を紹介する。

②「先端技術への招待」

先端技術とはどのようなものか、またそれは私たちの生活や社会をどのように変えるのかについてエレクトロニクス・バイオテクノロジーなどを中心に紹介する。

③「創造の広場」

創造の科学・生活の科学・サイエンスステージ・放電実験室の4つのコーナーなどを設置し、科学現象の不思議さや楽しさを実際に参加し体験する。

④その他

- ・「科学情報コーナー」 図書室と、宇宙や時空に関する展示
- ・「サイエンスドーム」 夏にプラネタリウムの上映を行うなど<直径23 mのドーム型スクリーン>
- ・「サイエンスドームギャラリー」 当館の展示に関連する幅広い展示を行う（入場料無料）
- ・「屋外展示」 自然石をもとにつくられたオブジェ「好奇心の門」「不思議のたね」
- ・「特設コーナー」 収蔵資料や展示・運営協力会の協力で、話題性のあるテーマの展示を行う
- ・「ワークショップ」 パイロット体験

(2) 展示・運営協力会

館の活動や充実・発展のため趣旨に賛同する専門的な知識を有する団体及び個人が、館の活動に対し支援及び助言を目的として設置（平成6年6月13日）

- ・会員数 98（うち団体会員数64）
- ・協力事業 令和元年度 講演会 1回
展示会 1回（11団体参加）
実験、工作教室 12回（10団体、2個人）
サイエンスショー 5回（5団体）
特設コーナー 3回（3団体）

2 施設等

- (1) 敷地面積 18,181.85㎡
- (2) 建物概要 建築面積 5,150.14㎡
延床面積 8,492.61㎡
構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
階数 地上2階、地下1階

3 職員構成

- 館長 1人、副館長 2人、
- 職員 庶務課 5人、普及課 9人、学芸課 11人 計 28人
- 会計年度任用職員（一般事務 1人、展示解説員 2人、主任技術員 6人、
障害者雇用 1人、事務補助 1人 計 11人）

4 令和2年度予算概要 総事業費 140,646千円 (前年度比 5,551千円増)
 (1) 展示事業費 15,634千円 (前年度比 870千円増)

○企画展

・企画展 「カ・ラ・ク・るー歯車が伝える動きー」 (仮称) 5,404千円 <10/17~12/6>
 からくり人形やからくりおもちゃから最新のロボットまで、その複雑な動きを体験することで、歯車などの“動きを伝えるしくみ”を楽しみながら理解する機会とする。

・ドーム活性化事業「プラネタリウム上映」 5,655千円 <8/7~8/26>
 サイエンスドームを活用し、夏季に最新設備によるプラネタリウム上映会を実施し、幅広い階層の来場者の入館を促進する。

(2) 普及・調査研究事業等 26,023千円 (前年度比 3,242千円増)

・解説員・技術員の人件費 23,672千円 ・調査研究費 335千円
 常設展示室の広報や科学技術、産業技術等に関する総合的な調査・研究を行い資料の収集、教育普及活動の展開を行う経費など

(3) 庁舎・維持管理費 98,989千円 (前年度比 1,439千円増)

館の施設設備等の維持、保守点検並びに運営に要する経費など

※その他 博物館施設整備事業 10,530千円
 吸収冷温水機ポンプ更新工事

5 入館者の状況

①開館からの100万人毎の達成年月日

- ・平成 9年8月28日 入館者100万人
- ・平成12年8月15日 入館者200万人
- ・平成15年7月13日 入館者300万人
- ・平成20年8月26日 入館者400万人
- ・平成26年8月18日 入館者500万人

②過去5年間の入館者の推移 (単位：人)

年 度	入館者数	開館からの累計
27年度	152,887	5,284,488
28年度	169,778	5,454,266
29年度	173,163	5,627,429
30年度	165,900	5,793,329
元年度	128,819	5,922,148

③令和元年度入館者数 (単位：人)

開館日数	区 分	乳幼児	小・中学生	高・大学生	一 般	計
280日	個 人	10,801	17,953	676	86,241	115,671
	団 体	1,973(56)	7,625(139)	493(11)	3,057(97)	13,148(303)
25日	合 計	12,774	25,578	1,169	89,298	128,819

※()は団体数

令和2年度 千葉県立関宿城博物館の概要

1 沿革

千葉県立関宿城博物館は、昭和63年に設置基本構想を策定し、平成7年11月1日に機関設置され、同年11月10日に開館し、今年で25年目となります。

建物は、利根川と江戸川に挟まれた（江戸川の流頭部）野田市関宿三軒家のスーパー堤防上に建設され、かつての関宿城を模した天守閣を再現し、4階の展望室から利根川や江戸川の流れはもとより、筑波山をはじめ富士山など関東一円の山並みを一望することができます。

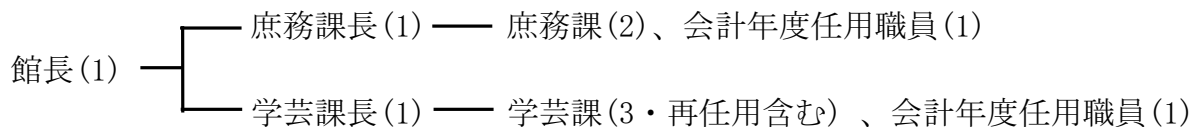
2 関宿城博物館の使命

川と人々のかかわりについての歴史・産業・文化・自然等に関する資料の収集・保管・調査研究と情報の発信を行い、県民の生涯学習の場を提供します。

3 施設等概要

敷地面積	11,134.81㎡（県6,240.36㎡、国4,894.45㎡）
建物延床面積	2,172.31㎡（休憩所・屋外トイレを含む）
構造	鉄筋コンクリート造り平屋一部3層4階、木造平屋造り
施設	1階：常設展示室(1)～(3)、集会室、収蔵庫、事務室 等 2階：企画展示室 3階：多目的室(展示室) 4階：展望室
日本庭園	約4,000㎡ 芝生広場、枯山水、四季の樹木 等

4 館の組織



5 予算

総額38,147千円（前年度比 +1,514千円）

- ① 展示事業費 2,895千円
- ② 普及・調査研究事業費 586千円
- ③ 庁舎等維持管理事業費 34,666千円

6 展示内容

(1) 常設展示

- ア 展示室(1)「近現代の利根川・江戸川」
実物大の水塚の再現展示、明治時代以降の利根川流域の河川改修工事や利根運河の開削など。
- イ 展示室(2)「近世の利根川・江戸川」
江戸時代初めの利根川流域の河川改修、手賀沼・印旛沼の干拓など。
- ウ 展示室(3)「河川交通と伝統産業」
近世から近現代の利根川水運の推移、河岸の発展、様々な文化や民俗など。
- エ 企画展示室「関宿藩と関宿」
関宿藩の歴史や関宿城の資料、藩主久世氏関係資料など。

(2) 企画展示

開館25周年記念企画展「関東のへそ～地勢とくらしのヒストリー～」

10/2(金)～11/29(日)

- ・概要：関東地方のほぼ中央に位置する関宿は、霞ヶ浦や常陸川・旧利根川とつながり、古代から関東内陸部への交通の要衝でした。以来、人は時に自然と対峙し、また地勢の変化に対応することによって、人の営みを大きく進展させてきました。展示では地勢が及ぼす人々の暮らしの変化に視点を置き関宿周辺の庶民の生活について考えていきます。

【関連事業】、

(体験教室)10月・11月に計2回

また、11月に関連講演会を開催

10月に展覧会に関連した歴史散歩(日帰りの旅)等を予定
(展示解説会)10月・11月に3日間実施予定

(3) その他の展示

ア 2020「国際博物館の日」記念事業 パネル展「街道をたどる」

～6/28(日)

- ・関宿周辺を通る歴史的に意義のある大小の街道を取り上げ、往来の様子や景観について紹介します。

イ パネル巡回展「オリンピック・パラリンピック」と千葉のスポーツ史

5/19(火)～6/15(月)

ウ すごろクイズ「旅に出よう！」

6/30(火)～9/27(日)

- ・すごろくとクイズが一緒になった参加型の展示で、昔の旅人になったつもりで、クイズを解きながらすごろくの旅を楽しめます。

エ 関宿城写生コンクール作品展

9/15(水)～10/4(日)

- ・関宿城周辺を題材とした写生画を公募し、作品を展示

オ 第20回関宿城百景写真展

12/4(金)～1/17(日)

- ・関宿城周辺を題材とした写真を公募し、作品を展示

カ 昔のくらし展

1/19(火)～4/18(日)

- ・昔なつかしい、かつての生活用具や農具などを展示

7 主な教育普及事業

ア 歴史講座

- ・古文書を読む(入門編・初級編)計6回

イ 博物館セミナー

- ・調査協力員による研究成果の発表 7回

ウ 郷土食講座

- ・そば打ち [打ち方コース] 1回、[打ち方+ゆで方コース] 1回
- ・小麦まんじゅうづくり 4回
- ・鷹菜漬け 4回

エ 体験教室—みんなでふれあい体験—

- ・河川敷のいきものさがし(小学生向け)(一般向け)
- ・投網を投げてみよう
- ・関宿城下を歩こう(1日コース)2回
- ・関宿城下を歩こう(半日コース)1回

オ ミュージアムトーク（展示解説会） 6回

カ イベント・ワークショップ

- ・ 関宿城で初日の出をみよう
- ・ 県民の日イベント
- ・ 夏休み子どもスケッチ 高瀬船を描こう
- ・ お正月飾りを作ろう
- ・ 関宿城でお正月

キ 研修会「教員のための博物館利用研修会」

ク 学習支援

- ・ 常設展示案内
- ・ 出前授業、学校等団体対応、職場体験・インターンシップ等を随時実施

8 収蔵資料

(令和2年3月31日現在)

総数	内訳	民俗	古文書・古典籍	美術工芸	写真	埋蔵文化財
28,431		584	21,859	5,793	194	1

9 入館者数

(令和2年3月31日現在)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
入館者数	104,135人	88,501人	95,784人	89,315人
開館日数	318日	313日	308日	281日
累計入館者数	2,896,547人	2,985,048人	3,080,832人	3,170,417人

※平成25年4月20日 入館者250万人達成、平成30年4月28日 入館者300万人達成

千葉県立房総のむらの概要(令和2年度)

1 使命

千葉県立房総のむらは、伝統的なくらしや道具、ものづくりの技を保存・継承し、新たな価値を見だし、展示や体験をととして歴史や文化を学ぶ博物館を目指します。
そして、歴史や自然を愛する心を育み、伝統文化の理解や学習、地域づくりを支援します。

2 場所

印旛郡栄町龍角寺1028

3 沿革

昭和61年4月1日	機関設置。総屋・めし屋・そば屋の公開開始。
昭和61年11月1日	演目(実演・体験)等を行う本格的公開開始。
平成4年6月15日	下総・安房の農家の設置に伴い、全施設の公開開始。
平成16年4月1日	房総風土記の丘(昭和51年開館)と統合。入場料の有料化実施。
平成18年4月1日	指定管理者制度導入。(財)千葉県教育振興財団が指定管理者となる(3年間)。
平成21年4月1日	(財)千葉県教育振興財団が引続き指定管理者となる(5年間)。
平成26年4月1日	(公財)千葉県教育振興財団が引続き指定管理者となる(5年間)。
平成31年4月1日	(公財)千葉県教育振興財団が引続き指定管理者となる(5年間)。

4 施設

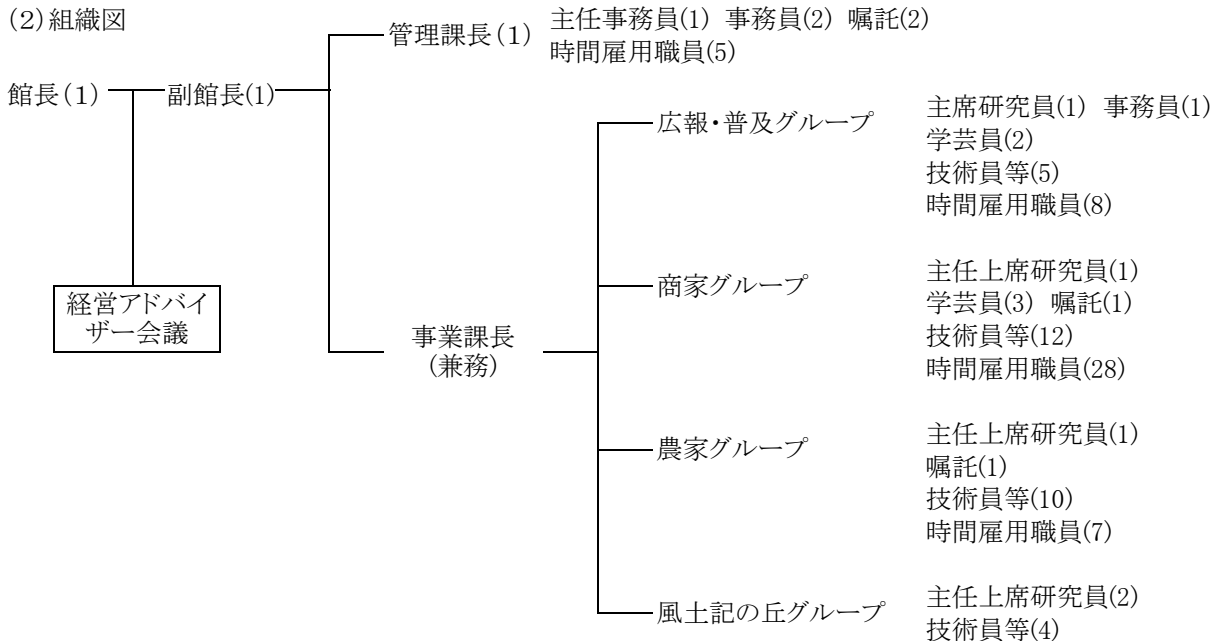
(1)敷地面積	51ha
(2)建物	再現建物 24棟 (管理棟・総合案内所・商家16・武家屋敷・農家3・農村歌舞伎舞台・水車小屋) 風土記の丘資料館 1棟 指定文化財建造物 3棟 (国指定:旧学習院初等科正堂・旧御子神家住宅) (県指定:旧平野家住宅)
(3)展示室	1,037.41㎡(商家8棟214.11㎡・風土記の丘資料館823.3㎡)

5 組織 (令和2年8月1日現在)

(1) 職員数 100名

区分	県等退職職員	事務員等	学芸員	嘱託	技術員等	時間雇用職員	合計
館長	1	—	—	—	—	—	1
副館長	1	—	—	—	—	—	1
管理課	1	3	—	2	—	5	11
事業課	5	1	5	2	31	43	87

(2) 組織図



(3) 学芸員資格取得者数 13名

6 予 算

年 度	令和2年度当初	令和元年度当初	平成30年度当初
予 算(税込)	463,728 千円	479,525 千円	485,827 千円

7 常設展示の構成

(1) ふるさとの技体験エリア

・商家の町並み景観と武家屋敷

商家16棟、武家屋敷及び総合案内所の復元建物で各々の調度品及び生活歳時記の展示
 商家2階展示 〈女性の髪型〉・〈藍染〉・〈和菓子をつくる〉・〈浮世絵一彫りと摺り
 一〉・〈生活の中の和紙〉・〈お酒ができるまで〉・〈くすり〉・〈竹とくら

・農家と耕作景観

上総の農家 } 農家の佇まいと調度品の展示及び生活歳時記の展示
 下総の農家 } 稲作栽培景観と四季折々の畑作栽培景観
 安房の農家 } 災いよけの屋外展示
 水車小屋 米の精白

・おまつり広場

農村歌舞伎舞台

(2) 歴史と自然を学ぶ風土記の丘エリア

・風土記の丘資料館(大規模改修に伴い令和4年春まで閉鎖中)

・屋外展示

龍角寺古墳群・岩屋古墳
 復元竪穴住居(大規模改修に伴い令和4年春まで閉鎖中)
 旧学習院初等科正堂
 旧御子神家住宅
 旧平野家住宅

8 収蔵資料

区 分	令和元年度末	平成30年度末	平成29年度末
個別資料	3,712	3,712	3,712
テン箱資料*	10,635	10,635	10,635

* テン箱資料は、考古資料の箱数。

9 入館者数

区分	入館者数(人)	うち有料入館者数(人)	入館料(円)	体験者数(人)	外国人(人)
令和元年度	216,780	55,348	15,153,860	103,060	6,814
平成30年度	253,240	64,242	18,098,180	121,294	8,645
平成29年度	249,803	59,858	16,883,110	107,855	6,565

10 令和元年度主要事業(実績)

令和2年3月2日から3月31日まで休館

(1) イベント

- ・「さくらまつり」 平成31年4月6日(土)・7日(日)
- ・「春のまつり」 令和元年5月3日(金・祝)～5月5日(日・祝)
- ・「むらの縁日・夕涼み」令和元年8月11日(日・祝)・12日(月・休)
- ・「秋のまつり」 令和元年10月5日(土)・6日(日)
- ・「ふるさとまつり」 令和元年11月3日(日・祝)
- ・「むらのお正月」 令和2年1月2日(木)・3日(金)

(2) 展覧会

- ・企画展 「龍角寺古墳群とその時代」 令和元年10月12日(土)～令和元年12月8日(日)
- ・トピックス展 「むらの昆虫」 平成31年4月2日(火)～4月14日(日)
- 「刀剣と甲冑の世界」 令和2年2月1日(土)～3月1日(日)
- ・写真展 「レンズをとおした房総のむら」 令和元年12月7日(土)～令和2年2月24日(月・休)
- ・出土遺物展「eco生活事始めー考古資料から見た
上手な資源の使い方ー」 令和元8月3日(土)～9月23日(月・祝)
- ・作品展 「房総のむら写生コンクール作品展」 令和元年10月19日(土)～12月1日(日)

- (3) 講座・講演会等
- ・ 考古学講座 4回 6月23日(日)・8月25日(日)・10月27日(日)・12月1日(日)
 - ・ 里山観察会 7回 5月18日(土)・7月6日(土)・7月20日(土)・9月29日(日)・10月14日(月・祝)
10月19日(土)・11月23日(土・祝)
 - ・ 野鳥観察会 1回 2月15日(土)
 - ・ 歴史の里の音楽会 1回 10月14日(月・祝)
 - ・ 房総座(落語会) 3回 6月23日(日)・10月27日(日)・2月16日(日)
 - ・ 伝統芸能入門 4回 5月18日(土)・6月15日(土)・8月25日(日)・1月13日(月・祝)
 - ・ 北総江戸めぐり 1回 9月29日(日)
 - ・ 教職員研修会 1回 8月1日(木)

- (4) 日常の実演・体験演目
- ・ 商家町並み めし屋・そば屋・川魚の店・菓子の店・お茶の店・呉服の店・小間物の店・本瓦版の店・紙の店・細工の店・畳の店・酒燃料の店・瀬戸物の店・木工所・鍛冶屋と武家屋敷で、206演目を実施。
 - ・ 農家 上総・下総・安房の農家で農事暦・生活歳時記・手工芸・機織り・食品加工・こどものあそびなど148演目を実施。
 - ・ 風土記の丘資料館 土器作り・勾玉作りなど19演目を実施。
 - ・ 総屋(広報普及) ガイドツアー・観察会・伝統芸能入門・歴史の里の音楽会など9演目を実施。

11 令和2年度主要事業

令和2年5月25日まで休館、再開後も一部のイベントや体験は中止または延期

(1) イベント

- ・ 「春のまつり」 令和2年5月3日(日・祝)～5月5日(火・祝) 中止
- ・ 「むらの縁日・夕涼み」 令和2年8月9日(日)・10日(月・祝) 中止
- ・ 「秋のまつり」 令和2年10月3日(土)・4日(日)
- ・ 「ふるさとまつり」 令和2年11月3日(火・祝)
- ・ 「むらのお正月」 令和3年1月2日(土)・3日(日)
- ・ 「さくらまつり」 令和3年3月27日(土)・28日(日)

(2) 展覧会

- ・ 屋外展示 「千葉のまつり」 令和2年10月3日(土)～11月23日(月・祝)
- ・ 合同企画展示 「オリンピック・パラリンピック」と 令和2年7月22日(水)～9月22日(火・祝)
千葉のスポーツ史
- ・ トピックス展 「房総の牧から酪農へ」 令和2年4月25日(土)～5月31日(日) 中止
「組紐コース作品展」〈前期〉 令和2年7月22日(水)～8月6日(木) 中止
「組紐コース作品展」〈後期〉 令和3年1月16日(土)～1月31日(日)

(3) 講座・講演会等

- ・ 考古学講座 1回 6月7日(日) 延期
- ・ 里山観察会 5回 7月11日(土) 中止
10月10日(土)・10月18日(日)・10月24日(土)・11月29日(日)
- ・ 野鳥観察会 1回 2月13日(土)
- ・ 伝統芸能入門 3回 6月15日(月)
8月2日(日)・1月17日(日)
- ・ 歴史の里の音楽会 1回 10月17日(土)
- ・ 房総座(落語会) 3回 5月31日(日) 中止
10月25日(日)・2月28日(日)
- ・ 北総江戸めぐり 2回 9月27日(日)・3月14日(日)
- ・ 教職員研修会 1回 7月31日(金)

(4) 日常の実演・体験演目

- ・ 商家町並み めし屋・そば屋・川魚の店・菓子の店・お茶の店・呉服の店・小間物の店・本瓦版の店・紙の店・細工の店・畳の店・酒燃料の店・瀬戸物の店・木工所・鍛冶屋と武家屋敷で、199演目を予定。
- ・ 農家 上総・下総・安房の農家で農事暦・生活歳時記・手工芸・機織り・食品加工・こどものあそびなど150演目を予定。
- ・ 風土記の丘資料館 土器作り・勾玉作りなど10演目を予定。
- ・ 総屋(広報普及) ガイドツアー・観察会・伝統芸能入門・歴史の里の音楽会など10演目を予定。

県立博物館・美術館における新型コロナウイルス感染症への対応について

1 経過概要

日付	主な事項
3月3日～15日	県立博物館・美術館（5館8施設）全てが 臨時休館 となる
3月13日	県立博物館・美術館、臨時休館の当面継続を決定
3月28日	国 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針を決定
4月7日	7都府県に緊急事態宣言が発令
5月4日	緊急事態宣言を5月31日まで延長決定
5月14日	（公財）日本博物館協会が「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定
5月26日	県境に近い5施設（現代産業科学館・関宿城博物館・大利根分館・大多喜城分館・分館海の博物館）を除く3施設を除き 再開館 。
6月2日	5施設も 再開館

2 現状の感染防止対策措置

（1）三つの密（密閉・密集・密接）を避ける取組み

- ・密閉：空調設備を稼働し、展示室内の換気の強化
- ・密集：受付時の人と人の距離を保つ、入場者が多い場合は一時入場制限を行う
- ・密接：飛沫防止の仕切りを受付へ設置、対人距離を確保するマーキング設置

（2）入場者に対する取組み

- ・入場者の検温を行い、体調等を伺い、具合の悪い方又は体温が高い方の入場のお断り
- ・入場者へマスク着用をお願い
- ・今後当館を利用した方から感染者が発生した場合の対応のために入館票記入のお願い
- ・ハンズオン等の接触するものの使用停止、食事スペース等の閉鎖

（3）職員の取組み

- ・職員のマスク・フェースガード着用
- ・執務室における飛沫防止の仕切り設置
- ・共用部分を中心とした手指用消毒液の設置・手洗いの励行
- ・接触頻度の高いドア・トイレ、展示ケース等のアルコール等による消毒

（4）Web上での取組み

- ・在宅で楽しめる博物館コンテンツをホームページで紹介

3 今後への課題

- ・団体受け入れの再開
- ・観察会等の野外事業、ハンズオン等、ミュージアムトーク・ギャラリートークの再開
- ・各種イベントの再開